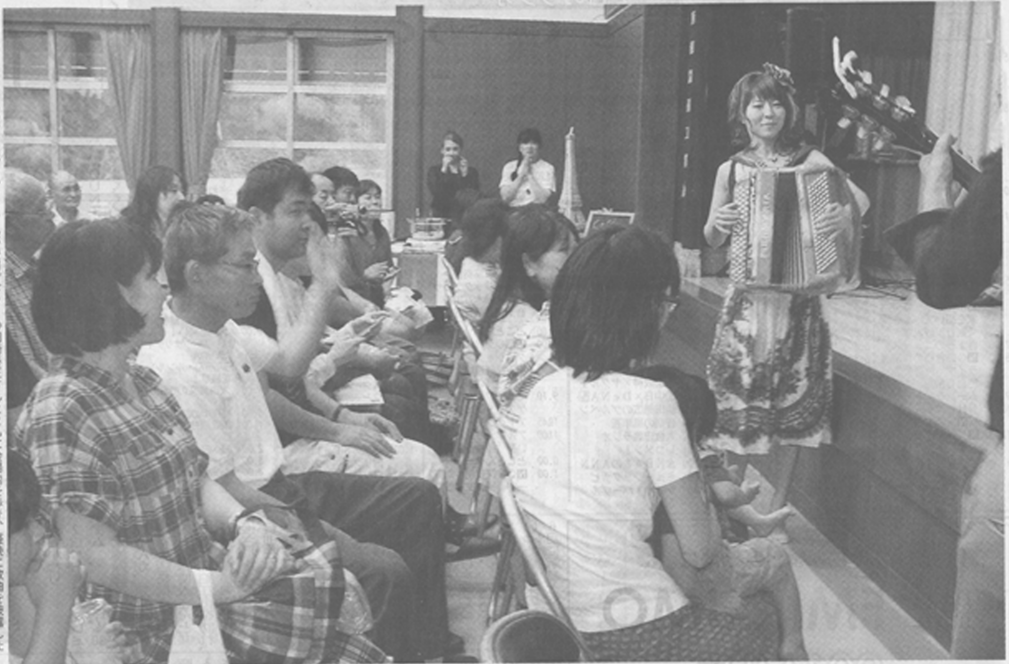
会場の様子



アコーディオンを演奏しながらかとうさんが登場。ギターの岡崎泰正さんとともに会場内を歩き、軽快に数曲を披露した

フランスマルシェでフランス雑貨を販売。このほか、お菓子やパンなども

フランス文化教室による、フランス料理ラタトウユ（夏野菜の煮込み）販売

松江市国際交流員のルーク・ポマレードさんがフランス文化を紹介。ブドウ、ワイン、チーズ、パン、建物などを取り上げた

ステージで、フランス文化教室（松江市）の約10人がフランス語の歌「オーシャンゼリゼ」を紹介。参加者も一緒にフランス語で歌った

楽器づくりワークショップも開かれ、鳥の鳴き声とそっくりな音の出るバードコールをつくった

かとうかなこさんがライブ

松笠ご縁の館は「フランス市場」に

かとうかなこと
旅する
フランス市場
a松笠

会場に置かれた手作りの看板

雲南市掛合町松笠の松笠交流センター（松笠ご縁の館）で6月28日、クロマチック・アコーディオン奏者かとうかなこさん（大阪府豊中市出身）のアコーディオンライブやフランスマルシェ（市場）などによる「かとうかなこと旅するフランス市場ａ松笠」があった。市内外から約250人が来場し、にぎわいを見せた。

かとうさんは17歳でアコーディオンコンクールに優勝し、高校卒業後フランスに渡り、4年間の留学中に全仏コンクールで第1位となった。この日は、ギタリストの岡崎泰正さんとともに「巴里（パリ）の空の下セーヌは流れる」主題歌など合わせて8曲を演奏し、来場者を楽しませた。

松笠ご縁の館は白壁の木造平屋建で今年3月に竣工。会場の多目的ホールには、県外の2店を含む11店が出店し、フランス菓子やコーヒー、フランス雑貨などを販売。ステージでは、松江市国際交流員のフランス人ルーク・ポマレードさんがフランス文化を紹介し、フランス文化教室（松江市）の教室生約10人が、フランス・パリのシャンゼリゼ通りをモチーフにした歌「オーシャンゼリゼ」を紹介し、来場者も一緒にフランス語の歌に挑戦した。出雲市平田町から家族3人で訪れた女性（36）は「日本の田舎にいてフランスの文化に触れるのは面白いです」と話していた。

「音楽がつなぐ人・街・心」実行委員会（名原佳子委員長）が主催した。同委員会では、翌29日は市内の「さくらおろち牧場」でかとうさんのライブなどによる「馬と音楽のにちようび」を実施。今後もかとうさんを招き、音楽を通して人と街、心をつなぐ年間音楽事業を展開するとしている。